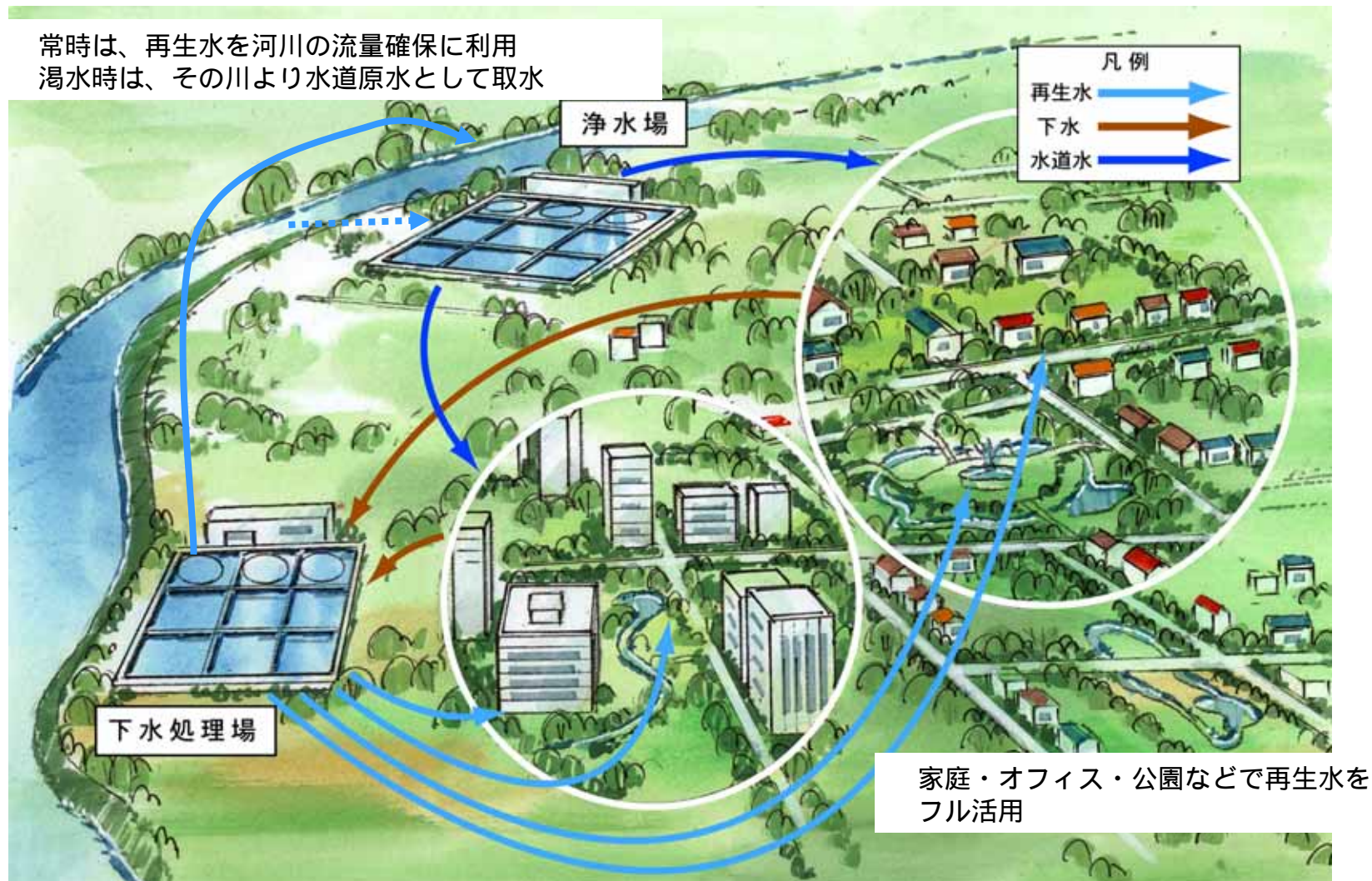


提案2 水ゼロエミッション

提案の概要

再生水を最大限に活用し、処理水を100%有効利用

常時は、再生水を河川の流量確保に利用
渇水時は、その川より水道原水として取水

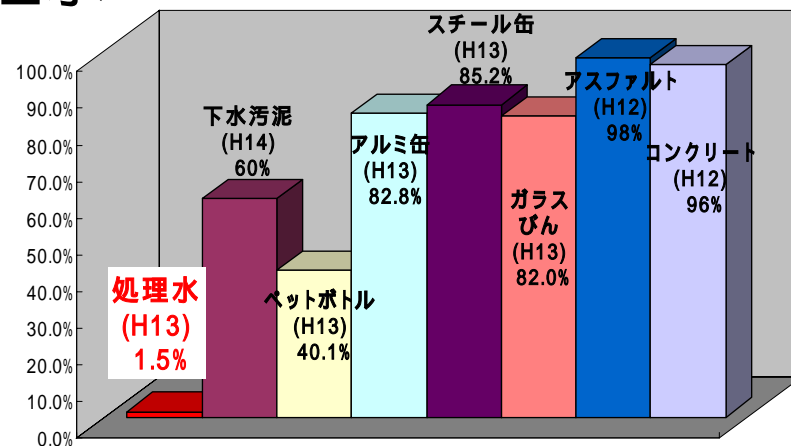


提案の背景

(1) 再利用が進んでいない処理水

下水道の処理水は、1.5%と他と比較して再利用が進んでいない。

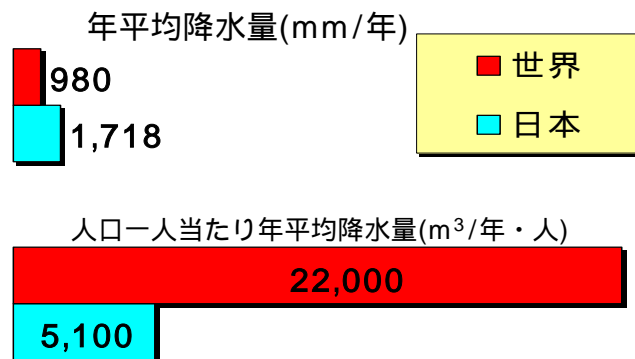
再利用状況



(2) 安定した水供給の限界

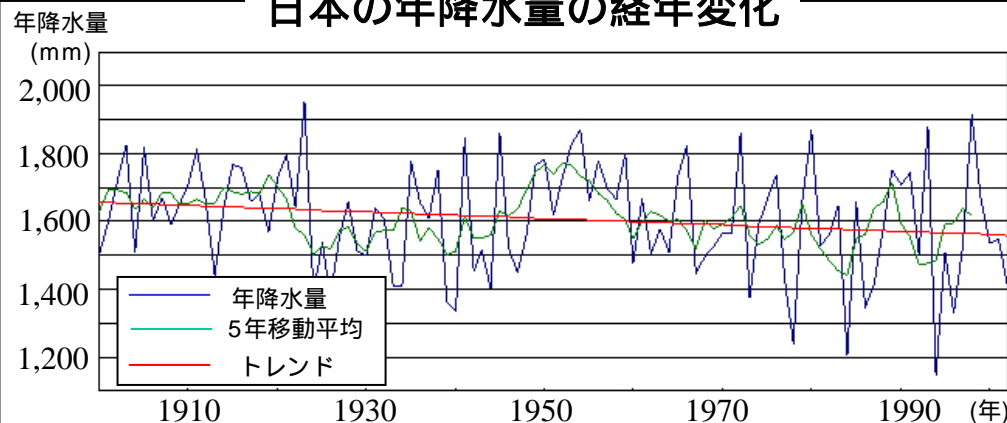
日本の年間降水量は、世界の約2倍だが国土が狭いため人口一人当たりになると1/4となっている。また、長期的に降水量は減少傾向にあり、近年は、小雨と多雨の開きが大きくなっている。

世界と日本の年降水量の比較



日本の水資源より

日本の年降水量の経年変化



日本の水資源より

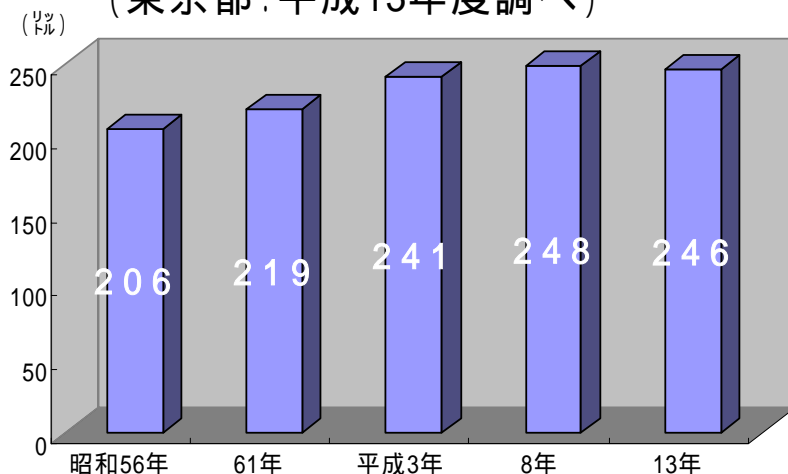
(3) 需要がある処理水

トイレの水に飲料水？

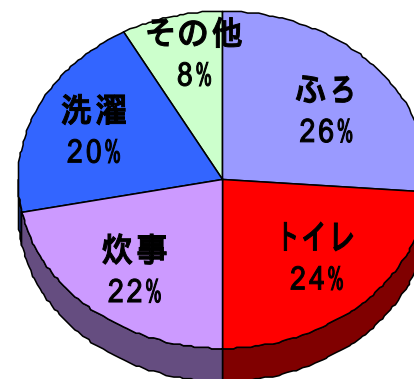
- ・日本の家庭では、トイレを含め家庭内すべての水に飲料水と同じ水を使っている。

〔日本でトイレで使っている水の量は一日約760万 m^3 にもなり、約25日で奥多摩湖（小河内ダム18,900万 m^3 ）がいっぱいになる。〕

家庭で1日に1人が使う水の量
(東京都:平成13年度調べ)



家庭での水の使われ方

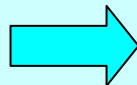


東京都水道局 平成9年度一般家庭水使用目的別実態調査

- ・再生水の水質が高まれば、水道水のかわりに家庭内のさまざまな用途（洗濯や風呂）で利用が可能

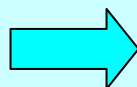
提案による効果

再生水利用の推進



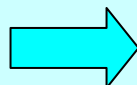
循環型社会の構築

河川から取水量の減少
河川への再生水の放流



自然環境への負荷の低減

都市での水循環の構築



湯水に強い街の実現

実現のためのシナリオ

家庭・オフィス
での再生水利用
システムの構築

再生水の
法的位置づけ・
水質基準の設定

水ゼロエミッションの達成

市民が安心して、
活用する再生水

都市への再生水
供給システムの
構築

再生水の有用性
安全性の
PRの推進